

# あいめーる

SPRING

令和5年6月1日発行  
発行  
社会福祉法人 愛隣園  
障害者支援施設 愛隣館  
発行責任者 三浦貴子  
編集 広報チーム  
キャリアポジション

〒861-0551  
熊本県山鹿市津留 2022  
TEL 0968-43-2771  
FAX 0968-43-2793  
http://aileans.com  
E-mail  
ailinkan@magma.jp

## 愛隣館通信



元気よく乾杯の音頭をとられる 山下四季子さん

五月十日(水)、多機能型ホームぴあハウスに於いて、ぴあハウス十六周年記念「春の地域交流会」を開催しました。今年度は、「コロナ禍で二〇一九年五月二十三日開催後、四年ぶりの会となり、地域消防団長をはじめ、法人役員、ご家族、異動スタッフ等三十九名にご参加頂き、とても賑やかなひと時となりました。

先ず、ぴあハウス入居者を代表して吉本やす代さんが、心のこもった感謝の挨拶、山下四季子さんが、元気いっぱい乾杯の音頭をとられ会食がスタートしました。

交流会では、ご家族や地域の方々とは和やかに会話を楽しみながら、お寿司やオードブルに舌鼓を打たれました。また、母の日に前に、利用者からご家族や地域の方々へカーネーションの花束のサプライズプレゼントがありました。思いがけないプレゼントに大変喜ばれていました。コロナ禍で交流会が中止になり、久方ぶりに顔を合わせ積る話に花が咲き、笑い声が絶えない会となりました。

これからも、入居者お一人おひとりに寄り添いながら、健康で楽しく暮らして頂ける様なサービスを心がけていきたいと思

います。  
ご参加いただいた皆様に、入居者、スタッフ一同感謝申し上げます。

ぴあハウス管理人

竹下 真二

ぴあハウス「春の地域交流会」



お母さんにカーネーションの贈呈 鳴瀬美佐さん



## 初めての入院に学んだこと



館長 三浦 貴子

私事ですが四月二十四日から五月八日まで、腰椎椎間板ヘルニア遊離型という診断を受け、車椅子と歩行器の入院生活を送りました。現在は、コルセット着用でゆっくり歩行のところまで回復しております。

三月末に痛みが始まってから原因がわかるまで一か月間と、治療に入ってから、愛隣館を始め沢山の皆さんにご迷惑をおかけし、お世話になりました。本当にありがとうございます。

激痛の頃は、頸髄損傷の故今澤さん方が、シートが当たっても服地でも痛いと言われていた事ばかりを思い出しました。車椅子に乗ると、仕事でバンコクやニューヨークに同行したDPI平野議長が、どんなふうに車椅子を操作され荷物を運んでおられたかをお手本にしました。歩行器を使う時は利用者の久留さんを思い、かつては歩行器で中庭のうさぎの世話までなさったことに感心し直しました。

洗面台に車椅子で付けても微妙に高く、腰を曲げてもならず、両手は横向きにしか使えない不自由。片手や人に洗面を介助してもらおう事の多い利用者の方々の不便を思いました。いかんともしたい疼痛や、日常の生活動作を人に委ねざるをえ

ない暮らしでの様々な感情に、本当に寄り添えて来たかをお省する機会となりました。退院の翌日、利用者故岩崎多鶴子さんのご家族からお手紙が届きました。

約三十年前熊本の当事者リーダーから、市電に低床電車を導入する運動の目的で、ヨーロッパへ交通事情調査へ行くので、女性車椅子ユーザーを介助して来て欲しいという依頼を受けました。スイスに行くのが夢だった岩崎さんは私が一人介助出来る方だったので、三十代前半の勢いで、四十代の岩崎さんと旅立ちました。その四年後に発病なさるとは夢にも思いませんでした。

今は私も、二リットル以上は持つべからずの状況です。後輩の若いスタッフの皆さんに、今にしかできない事や、利用者の方々も今しか望まれない事があるので、コロナ明けと共に、一つずつ願いを叶える支援を目指しましょうと伝えたい気持ちです。

## ご家族からの手紙

三坂 由美様

(熊本市在住)



昭和六十三年六月〜平成十三年五月ご入所した岩崎多鶴子様のご遺族よりお便りが届きました。

木々を渡る風もさわやかな季節となりました。愛隣館ほか皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

久々にお便りさしあげます三坂と申します。故、岩崎多鶴子の縁者です。

貴子先生には妙立寺へもお詣りいただき有難うございました。命日も近いので、写真を整理してアルバムにはっております。

愛隣館へお世話になりましたからは、皆様の御配慮でとてもとてもすばらしい人生が送られたと思いきや感謝しております。愛隣館で絵を書いたり、裁縫をしたり、皆の前でカラオケを歌ったり、外国へ旅行に行ったり、楽しい人生を送らせて頂き、私達がしようにもしてやれなかったことが出来て、本人も満足だったと思います。お寺から離れて愛隣館へお世話になったこと、本人の行くべき道だったのでしよう。私達も大変喜んでおります。重ね重ねお礼申し上げます。

五月九日は二十三回忌を迎えます。しっかりお詣りしたいと思います。

合掌

三坂

## オリジナル 豆まき!

ケア課・米崎 みどり

「鬼は外、福は内」今年は三年振りに食堂にて節分の豆まきを行うことが出来ました。

「コロナ禍での豆まきなので、新聞を小さく丸めた豆をスタッフで作り、豆まきする」と言うオリジナルの豆まきです。いつもの豆まきとは違いましたが、

三年振りの節分に多くの利用者が参加されました。

福の神の村田昌子さん、富田俊幸さんの紹介後、太鼓の音で豆まきが始まり、鬼の衣装のスタッフや鬼の面を付けた利用者の方と短い時間でしたがオリジナルの豆まきを楽しみました。来年はコロナ前の様に節分の豆まきが出来ますように願います。



新しい仲間

デイケア利用

田中 ゆう子

二月より、デイケアの方でお世話になっております。

昔は、佐賀で看護師をして働いていましたが、最近になりハンチントンという病気を発症しました。愛隣館の活動では、手芸で編み物が好きです。マフラーを編んでダンナにプレゼントができれば良いと思います。他の利用者の方と友達になって楽しく過ごせたら良いなと思っております。

新人職員紹介

山鹿市基幹相談

支援センター相談員



北谷 知明 ともあき

三月に愛隣館へ入職し、四月から山鹿市基幹相談支援センターデイケアの相談員となりました。

これまでは精神科病院の相談員として従事していました。培ってきた経験を活かしながら、地域で暮らす方々のより良いサポートができればと思っています。誠心誠意頑張ります。よろしく願います。

また、コーヒーやキャンプが好きで休日ではゆっくりとした時間を過ごすことを大切にしています。気軽に話しかけていただけると嬉しいです。



ケア課

岡部 壮汰

この春、かもと福田支援学校を卒業し、愛隣館に就職しました。植木町からバスで通っています。

高等部の時に現場実習でお世話になり、すてきな施設だなと思っていたので、入職できてとても嬉しいです。

これから、仕事を一つひとつ覚えながら利用者の方々、職員の方々と笑顔で過ごせるように、一生懸命頑張りたいと思います。どうぞよろしく願います。

ケア課

石原 志織



今年度四月より、愛隣館に入職(二号館に配属)させて頂きました。

約二十三年間、障害者支援施設で勤務させて頂いていました。利用者の方と関わる事が好きで笑顔が見られた時は嬉しく、また福祉の仕事が続けたい、更に知識を身につけ学びたいと思いました。

利用者の方お一人おひとりに寄り添い、その方の想いを汲み取れるよう、スタッフの方々に教えて頂きながら頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



デイケア支援員

大坂 芽生佳 めいか

四月から愛隣館に入職(デイケア配属)しました。四月の愛隣館での新任職員研修の中で、各事業所の業務内容や一日の流れを知りました。日々の積み重ねを通して、利用者との関わり方について学びながら、福祉職員に必要な知識や技術を身につけ、貢献できるように精一杯頑張ります。

三月に大学を卒業したばかりで、慣れないことも多く、他の職員の方や利用者の方にご迷惑をおかけするごときも多いと思いますが、よろしく願います。



## お茶会・お花見会

ケア課・チーフ

富田 正美

桜前線が通り過ぎ、青紅葉の美しい季節となりました。

今年是全国的に桜の開花が早まりましたが、熊本は例年通りに咲き始め、三月下旬に見頃を迎えました。

令和5年（2023年）  
天気にも恵まれ、今年の愛隣館の桜は満開の時が例年より長かったような感じがしました。そのようにななか、玄関前の駐車場や二号館側中庭で、利用者の方々とお茶会やお花見会を開催することが出来ました。

あいめーる  
新型コロナウイルス感染症予防対策により、この三年間は日中活動が自粛されることが多かったのですが、今年は久しぶりに青空のもと、お茶会やお花見会が行われ、利用者の方々の満開の笑顔を見ることができ嬉しく思いました。皆さん、

青空に映える薄桃色の桜の花を愛おしそうに眺めていらっしやいました。

満開に咲いている桜や、その後の



桜吹雪を眺めていると、私は四季のある日本に生まれて良かったと思います。何故かしら、桜の花には感慨深いものがあります。

日本には、古来から伝わる六曜や二十四節気・伝統・四季折々の行事が多く存在するので、それらを大切にしていきたいと思います。

### やまが豊前街道浪漫散策

三月五日（日）山鹿市のさくら湯を中心に豊前街道一帯で「第八回街道浪漫」が開催されました。

この日は、天候にも恵まれ歩行者天国となったさくら湯周辺を、午前中に石川さんと日永さん、午後より洲上さんと東さんが散策。

昔ながらの店やキッチンカー、ワークショップ、パフォーマンス等

盛りだくさんで賑わい、各々周辺を散策したり、お目当ての食べ物を購入し愛隣館に持ち帰り舌鼓を打たれました。

また、湯の端公園のあし湯にくまモン像を発見すると、思わず顔がほころびパシャリと記念撮影するなど楽しいひと時を過ごされました。



日常風景の「コマ」  
利用者の皆さんの日常の様子を掲載しています。

山品聡美さん

いつも熊本美術館に行くのが楽しみです。

大林清一郎さん

お父さん、いつまでも元気で長生きして下さい。



### お知らせ

◆ 四月一日、愛隣園コミュニティホールにて、三施設、十四名の職員への法人辞令交付式が行われました。

◆ 四月二〇日より居室での面会を再開しています。「コロナ感染が発生した場合は、再び制限されますのでご了承ください。」

◆ 愛隣館にて、五月十六日（九十三名）と十九日（六十八名）合わせて百六十一名の利用者・スタッフのコロナワクチン接種が完了しました。

◆ 五月十四日（日）と二十一日（日）、くまもと障がい者スポーツ大会へ十五名の利用者が出場されました。